

「おろ…堪らねえな…
ギチギチに締めてきやがる…♡」

「いっ…ぎぎ！
や…いっ…や…っ！」

「どっよ俺のち●ぽは？
ま●こに響くだろ？(笑)」

「や…やッ…嫌…
た…すけ…助け…て…」

「ふ…ふ…♡
久々の女だから…やべえ…もう…ッ！」

「っ!？」

「や…ばい…やばい…!
ぐああッ…種汁上がってきた…っ!!」



「やっ…や…膣内は…ツッ！」

「分かってる分かってる」

「膣内に全部射精して欲しいんだろ？(笑)」

「ち…違っ…」

「ひぐッ!？」

「イクっ!イクぞフラン！」

「ドロッドロの濃い種汁注いでやるっ!!」

「お願いっお願いします！」

「膣内は…膣内だけは…っ!!」

「孕めっ!俺のガキ孕めっ!」

「フランま●ご種付けで孕めええええツツ!!」

「いああアアあああツ!!」



「んー…ふう…」
「おー…すっげ…ち●ぼ溶け…る…」

「ひっ…う…ぐ…」
「臆内…や…あ…」

「おーこれが噂の妹ちゃんか
すげーイイなマジ好みだわ♡」

「っ!?!」

「いや、姉の方ハメるか
かなり迷ったが妹で正解だったな♡」

「へ…?」
「それって…」

「んなの気にすんなって
ガンガン突いてやるからな
エロい声頼むぜ妹ちゃん♡」

「い…や…ああ…
たすけ…た…すけ…」

「分かっているとと思うけど
もう買手がついてんだから
壊すんじゃねえぞ」



「数日後とある屋敷」

「じゃ開けますので商品の確認お願いしますね」

「おおお……！」

「これは……これは……っ！」

「っ!?!」

「素晴らしい……
そしてこれが
噂の繁栄薬か♡」

「ふ……っ
ふ……っ!」

「は……ふう……♡
いかん……いかん……
ち●ぽが凄いことに……(笑)」

「ん!?!
んっ!んんんっん!!」

「よおーしよし

二人とも今日は寝かさんぞ♡
ワシのち●ぽでしっかり調教してやる♡」

「んんっ!
んんっ!
んんっ!
んんっ!









